

「使用済み天ぷら油からできるバイオディーゼル燃料体験学習講座」

事業実施結果報告（速報）

1. 事業概要と実施体制

本事業は、小学生を対象として、「一人一人が身近な場所でバイオマス利活用を実践できる」という意識改革を行うことを目的とし、廃食用油から BDF が出来ることを実地体験しながら、バイオマス利活用について学ぶ環境学習を実施した。

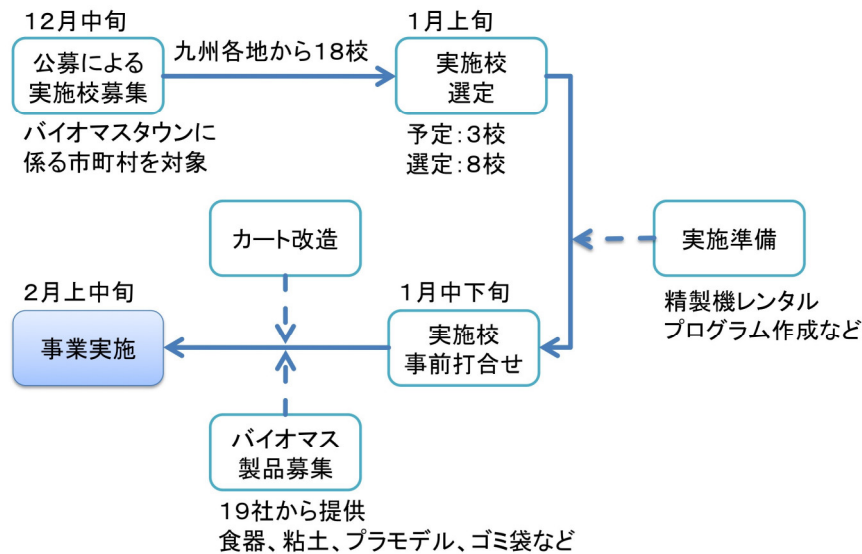
本事業の実施体制は、九州バイオマスフォーラムが環境学習講座を主催し、BDF 精製機やカートなどの機材運搬（BDF 使用のトラック）と BDF 精製作業を J-ライン株式会社に委託した（一部については、KBF のみで実施しており、その場合は BDF トラックを用いていない）。

学校側には、事前に子供たちへ使用済みてんぷら油の回収の呼びかけと説明をお願いした。

また、(社)日本有機資源協会の会員企業に対して、バイオマス製品のサンプル展示や廃食用油を持参した子ども達へお礼としてのノベルティグッズの提供をお願いした。

2. 実施経過と結果

本事業の実施校は公募により募集し、九州各県から概ね1校を選定した。その結果、2月2～19日の期間に8校212人の実施体験者に対して事業を実施した。



	実施校			学年	人数
2/18	福岡県	うきは市	吉井小	6年	40
2/12	佐賀県	唐津市	納所小	5・6年	27
2/19	大分県	宇佐市	宇佐小	6年	26
2/10	長崎県	新上五島町	若松小	5・6年	16
2/16	熊本県	阿蘇市	坂梨小	5年	24
2/2		南阿蘇村	久木野小	5・6年	43
2/6	宮崎県	川南町	山本小	4・5年	25
2/4	鹿児島県	南大隅町	佐多小	6年	11
実地体験者の総計 8 校 212 人					

実地体験者である子ども達にアンケートをとった結果、ほとんどの子ども達は、本事業実施により初めてバイオマスやバイオマス製品、BDF について知ることができた。特に、バイオマス製品に直接触れることができたことや、自分たちが持ってきた廃食用油が BDF に変わってカートが走ったことで、驚きや楽しみとともにバイオマスについて学べたのではないと思われる。

なお、バイオマス製品の展示サンプルやノベルティグッズの提供を受けた協賛企業は以下のとおりである。

展示品／ノベルティグッズ	原料	協賛企業
食品容器、ゴミ袋、レジ袋、ラミネートフィルム、ポリ乳酸フィルムなど	コーン、じゃがいもなど	(株)吉良紙工、(株)三代、大日本印刷(株)、中央化学(株)、(株)東日本レジン、UCC上島珈琲(株)、吉忠化学工業(株)、リスパック(株)、(株)麗光
文具、名札、デコイなど	コーン、竹、木屑など	阿久津樹脂工業、(株)NTTネオメイト、(株)デビカ、日東工業(株)
オセロ、パズル、ガシャポンなど玩具	コーヒー豆、木屑、など	(株)C.P.Toms、(株)バンダイ、(株)メガハウス
食器、陶器、植木鉢、粘土など	米、貝殻、コーンなど	アグリフューチャー・じょうえつ(株)、瀬戸製土(株)
漁具	コーン	タケブチ燃系(株)

3. 実施の様子

本事業の実施の様子は以下に示すとおりで、新聞などのメディアに多数取り上げられた。



廃食用油回収
の様子(久木野小)



講座の様子
(佐多小)



精製過程を見学
(山本小)



完成したBDFを
取り出す(若松小)



バイオマス製品に
触れる(坂梨小)



カートに試乗
(吉井小)

メディア		実施校	掲載/放送日	備考
新聞	熊本日日新聞	久木野小	2/4	
	南日本新聞	佐多小	2/12	
	佐賀新聞	納所小	2/14	1面にも見出し掲載
	熊本日日新聞	坂梨小	2/20	
TV	TKU or KKT (未確認)	坂梨小	2/17	お昼のニュース
インターネット	南日本新聞web	佐多小	2/12	地域のニュース(3/1時点でもまだ閲覧可)

※ 2/27時点でのKBF把握分



2/4付 熊本日日新聞:久木野小



2/14付 佐賀新聞:納所小



2/12付 南日本新聞:佐多小